



2001年11月19日に「世界トイレ機関」が創設され、「世界トイレサミット」が行われました。その後、2012年に国連が「トイレに関する問題を世界の人々をもっと考え、少しでも改善していく」ことを目的に、毎年11月19日を「世界トイレの日」と制定しました。

トイレについて考えてみよう

私たちの身の周りのトイレにはどのようなものがあるか、どのような（建物としての）特徴・機能・役割があるか考えてみましょう。
例：ドア・壁・洗面台がある、照明が点く、ドアを施錠できる（鍵をかけられる）など

6 安全な水とトイレを世界中に



世界の約□人に1人がトイレを使えていない

世界で約24億人が基本的な衛生施設（主にトイレ）を使えず、SDG6.2でも「すべての人々の、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、野外での排泄をなくす。女性及び女子、ならびに脆弱な立場にある人々のニーズに特に注意を払う。」と定められています。



もしトイレがなかったら、使いにくかったら

わざわざ遠く離れたトイレまで時間をかけて用を足しに行ったり、地面に掘った穴や草むら、道端、川などで野外排泄をしたりすることになります。野外排泄は水や土壌を汚染し、下痢などの病気にかかって学校へ通えなくなったり、仕事ができなくなったり、命を落としたりしてしまいます。

また、思春期の女の子の場合、野外排泄は生理に対応できない上、不衛生だったり暴行を受ける可能性があって特に危険なため、学校を休みがちになったり、中退したりしてしまうことが少なくありません。

以上のように、トイレが無い・使いづらいという問題は貧困の悪循環に直結しています。言い換えれば、こうした**トイレの問題を改善・解決することで、多くの社会問題を改善・解決することができる**のです。

引用

公益財団法人日本ユニセフ協会「世界トイレの日プロジェクト」<https://worldtoiletday.jp/>
国連デジタルライブラリ A/RES/67/291 <https://digitallibrary.un.org/record/754659>
国連SDG6解説ページ <https://www.un.org/sustainabledevelopment/water-and-sanitation/>



YICJYEG: ㄉㄨㄛ

Together, We Can CHANGE the World
はじめてみよう！あなたにできること。

もっと国際デー！

関連情報を調べてアクションをおこしてみよう！

- ・FTCJのホームページで児童労働について詳しく調べよう
- ・ストップ！児童労働キャンペーンに参加しよう！

FTCJはあなたの好きなこと・特技を活かした国際協力をおすすめしています。あなただからこそできる国際協力を一緒に探しませんか？全国のメンバーが様々なアクションを起こしています。

アクションのヒントはコチラで検索！

FTCJ 活動ヒント

検索